

福祉の

かさまつ社協



第221号

令和8年9月1日

〒501-6063

岐阜県羽島郡笠松町長池408-1

TEL (058)387-5332

FAX (058)387-5134

E-mail : kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp

<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

編集・発行／社会福祉法人笠松町社会福祉協議会

もしかしてフレイルかも!? フレイルチェック会開催 (詳細は6ページ)



Pick
up!

行事だより ～ふれあい昼食会など～
ボランティア情報
地域包括支援センターだより

P 2～3

P 4

P 6～7

行事だより



ふれあい昼食会を開催 ～日赤奉仕団下羽栗分団主催～

6月12日(金)総合交流センターで、下羽栗地域の高齢者を招いたふれあい昼食会が開催され、53人の方にご参加いただきました。会では、町レクリエーション協会副会長の亀山 正子さんに「心も体もすっきり!いきいき健康体操」、笠松民踊 華乃会に「日本おどり巡り♪」また羽島警察署より「自転車の交通安全について」お話しいただきました。

華乃会の民踊では、参加者の皆さんも一緒に踊り、楽しく過ごすことができました。

秋にも、三会場でふれあい昼食会の開催を予定しております。



炭坑節を踊っています

夏季安否確認事業

7月9日(木)・8月13日(木)松枝地域、7月18日(土)・8月15日(土)笠松・下羽栗地域で、夏季安否確認事業が行われました。7月～9月は、配食サービスの代わりに、日用品などを配付します。

ボランティアが対象者宅を訪問し、「暑い日が続きますが、こまめに水分を取り熱中症にならないよう、お過ごしください」など声をかけ配付しました。

対象者の方の声

- ・毎月声をかけていただき、感謝しております。ありがとうございます。



ひと声かけて届けています(笠松)

ふくし体験教室始まりました!

※ふくし体験教室は、小学5年生から中学3年生を対象に、7月～3月の期間にさまざまな福祉について学ぶ教室です

7月4日(土)に今年度の「ふくし体験教室」を開講しました。第1回は小・中学生9人が参加し「車いすの生活とスポーツ」をテーマに、車いすの操作や介助の方法を学びました。また、実際に車いすを使って生活されている長谷川 健さんをゲストに迎え、車いすでの生活や仕事についての話を聞いた後、長谷川さんと一緒に車いすバドミントンを楽しみながら交流しました。

ふくし体験教室は全8回で、今後も毎月様々な体験や当事者の方との交流をとおして「ふくし」について楽しく学んでいきます。



長谷川さんとバドミントン対決!

参加者からの感想

- ・車いすには、しょうがい者のためにいろいろな工夫があってすごいと思いました。
- ・車いす生活についてたくさん知ることができて、思った以上に大変そうだったから今度車いすの人を見かけたら手伝ってあげたいです。

地域とつながるボランティア活動 ～ボランティアグループKind活動報告～

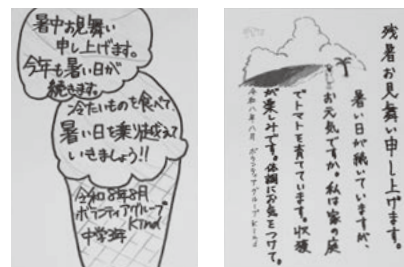
※Kindは、ふくし体験教室を修了した小学生から社会人までのメンバーで構成されているボランティアグループです

7月5日(日)に松枝交流センターで、メンバー11人が集まり活動を行いました。午前は、12月に交流会を予定している笠松町国際交流協会の日本語教室を見学し、中国やフィリピン、タイなどさまざまな国の参加者と、英語や日本語を交えながら交流しました。その後は、交流で話したことを踏まえてメンバーで話し合い交流会の計画を立てました。楽しい交流会になるよう今後みんなで準備を進めていきます。



まずは順番に自己紹介

午後は、町内のひとり暮らし高齢者の皆さんへ元気を届けたいという思いを込めて残暑見舞いを作成しました。折り紙やイラストで彩り、それぞれが今楽しんでいることや「熱中症にお気をつけください」などのメッセージを添え、心のこもった一枚に仕上げました。完成した残暑見舞いは8月に実施するひとり暮らし高齢者への夏季安否確認事業で地域のボランティアの皆さんと一緒にお届けします。



かわいいイラストで仕上げました

学んで遊んで楽しい夏休みを満喫！ ～子どもの学習支援事業～

7月25日(土)・8月2日(日)に福祉健康センターで『学ん Day Park～子どもの学習支援事業～「夏休み編」』を開催し、町内の小学1年生から中学3年生までの21人が参加しました。

参加した子どもたちは、支援員やボランティアに教えてもらいながら「夏の友」やワークなど夏休みの宿題に熱心に取り組みました。また、8月2日には作家の暮石 樹さんにダンボール工作を教えていただき、みんなで恐竜や動物を作りました。参加者はダンボールで恐竜の丸みを表現するのに苦戦しながらもかっこいい恐竜ができ上がり喜んでいました。

この事業は生活困窮者自立支援法に基づいた岐阜県からの委託事業で、第2・4木曜日の定期開催編と併せて実施しています。



上手に切れるかな

各種疑似体験などを実施 ～教職員福祉学習研修会～

7月28日(火)福祉健康センターで町内教育関係機関の福祉教育に携わる先生方を対象に教職員福祉学習研修会を開催し9人が参加しました。

高齢者疑似体験、車いす体験などの各種疑似体験やNPO法人こらんど代表 樋口 史子さんに「子どもまんなかのまちづくり～学校・家庭・地域で支える“子どもの権利”～」と題してお話いただきました。

参加した先生方からは、「子どもが健やかに成長できるようにしていくのが大人の役割だと改めて感じました。是非とも子どもに携わる関係者の方々に、今回の内容が伝わってほしいと思いました」などの感想・意見がありました。今後も各教育機関含め様々な団体と連携して地域でできることを考えていきます。



子どもの権利条約について
お話しいただきました

ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター
☎387-5332 FAX 387-5134
長池408-1福祉健康センター内
8:45～16:30(土・日・祝祭日は休み)

「話を聴くことから始めるボランティア」 ～傾聴ボランティア養成講座を開催しました～

7月27日(月)、31日(金)または8月4日(火)の計2回、傾聴ボランティア養成講座を開催し、25人が参加しました。

第1回は、「ふだんの生活にも活かせる“聞き上手”のコツ」をテーマに産業カウンセラーの丸山 悟さんをお招きして、「聞く」と「聴く」の違い、話を聴く時のポイント、事例をととした傾聴の方法などについて学びました。

第2回は、町内の心音ケアセンター笠松(北及)にご協力いただき、デイサービス内で「傾聴」を活用した体験を行いました。

町内では、ひとり暮らし高齢者宅や施設など様々な場所で人と人とのつながりを大切にする傾聴が求められています。

今後、参加された皆さんの活動の場が広がっていくことを期待しています。



傾聴ボランティア体験を行いました

参加者の感想

- ・聴き上手になりたい
- ・聴くことの大切さを感じた
- ・話し相手が欲しいんだと思う
- ・うなずくだけでもわかってもらえた

地域で活躍するボランティア紹介! 「木曜めぐみの会」

今回は、使用済み切手の仕分け・整理の活動を行う木曜めぐみの会さんを紹介します。活動のはじまりは、本会より使用済み切手の仕分け・整理をお願いしたことがきっかけで、今年で結成20年を迎えます。

切手を1枚1枚丁寧に切り分けながら、ボランティア同士で交流し、和やかな雰囲気の中で活動しています。年間約6kg程度の使用済み切手を整理されており、ボランティアさんからは「退職後、何かしたいと思い20年近く続けている。出かける場所があって仲間に会えることがうれしい」などの感想がありました。小さな切手もたくさん集まれば大きな支援につながります。地域の皆さんの思いやりをかたちにするステキな活動です。

また、「ボランティア活動をしてみたい」「ボランティアに来てほしい」などのご相談がありましたら、お気軽に本センターまでご相談ください。



木曜めぐみの会メンバー募集中!!

活動日: 毎月第1・3木曜日 9:30-10:30

場 所: 福祉会館(東陽町44番地の1)

対 象: シニアの方ならどなたでもOK

はじめてのボランティアでも心配いりません。興味がある方ご連絡お待ちしております。

詳しくは本センター(387-5332)まで

使用済み切手の収集について

使用済み切手の収集にご協力をお願いします。

ご協力いただいた使用済み切手は、換金後、災害ボランティアセンターの備品購入などに役立てます。今後とも使用済み切手の収集にご協力をお願いします。

消印に関係なく切手の周囲を5mm程度残して切り取ってください



ありがとうございます



使用済み切手の収集活動にご協力いただき、ありがとうございます。

6月11日～8月4日(順不同・敬称略)

リバーサイド笠松園

匿名5件

情報の森

いろいろな情報の木が生えた、かさまつ社協事業の森へようこそ。

かさまつ町民の“エンジョイ”を応援してくれる情報をピックアップし、ご紹介します。気になる木が、きっとあるはず。新鮮な驚きや発見に出会えるトクする情報満載です。あなたも参加しませんか？



災害ボランティアコーディネーター養成講座 参加者募集!

近年、全国各地で地震や豪雨などの大規模災害が相次ぎ、岐阜県内でも南海トラフ巨大地震などの発生が懸念されています。そのため、本会では大規模災害により町内に甚大な被害が発生した場合、被災者支援に駆けつけたボランティアと被災者をつなぐ窓口として、「笠松町災害ボランティアセンター」を設置・運営します。

本講座では社会福祉協議会とともに被災者・ボランティア双方の気持ちに寄り添い、ボランティアの受入れや活動先の紹介など被災者支援を円滑に進める「災害ボランティアコーディネーター」を養成します。いざという時に備えて、災害ボランティアセンターの役割について一緒に学んでみませんか？

日程 (全2回)

第1回 10月17日(土) 午後1時30分～午後3時30分

講話「笠松町の防災体制について」

講師 笠松町役場総務課 危機管理対策職員

講話「地域防災を考える」

講師 かさまつ防災士会 会長 河合 秀三 氏

第2回 10月24日(土) 午前9時30分～正午

講話「笠松町災害ボランティアセンターの役割について」

体験「笠松町災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

講師 本会職員

ボランティア
受付



災害ボランティアの受付体験

対 象

町内に在住・在勤の18歳以上の方

定 員

20人

会 場

福祉健康センター 3階会議室

参加費

無料

申 込

本会までお電話または右の申込フォームからお申し込みください

その他

講座を全日程受講された方に本会より修了証をお渡しします



申込フォーム



日常生活自立支援事業 ～支援員募集中～ 電話387-5332

本会では、高齢の方や知的・精神に障がいのある方などで判断能力が十分でない方の「福祉サービス利用」や「日常的な金銭管理」を支援する日常生活自立支援事業（福祉サービス援助事業）の生活支援員を募集しています。

生活支援員は、利用者のお宅などを定期的に訪問し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する活動です。あなたも、高齢者や障がいのある方が、地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか？

活動の内容等詳細については、本会までお問い合わせください。

1. 募集人員 若干名
2. 勤務時間
平日週1回～月1回
訪問1回あたり、
1時間～1時間30分
3. 賃金 時給1,200円
4. 応募要件
・普通自動車運転免許
・町内に在住で20歳以上
70歳までの健康で
元気な方
・ボランティア活動や
福祉に理解のある方

令和8年度 社会福祉協議会費納入状況報告 ご協力ありがとうございます

皆さんからご協力いただきました会費は、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、様々な事業・運営に使われています。

(令和8年8月4日現在)

	加入数	口 数	金 額 (円)
一般会費 (1口 500円)	4,966世帯	4,972.8	2,486,400
法人会費 (1口2,000円)	191社	230	460,000
賛助会費 (1口1,000円)	176人	201	201,000
	—	—	3,147,400

あたたかい善意のこころ

- ロビン・フード笠松店… 金 37,268円
- 匿名 …………… 金 14,000円

皆さんよりお寄せいただきました「あたたかい善意のこころ」は、地域福祉事業に役立てさせていただいております。(順不同・敬称略)(6月11日～8月4日)

地域包括支援センターだより

笠松町地域包括支援センター ☎388-7133 FAX 387-5134 長池408-1福祉健康センター内

結核検診にてフレイルチェック会を開催しました!

7月10日(金)、7月14日(火)、7月16日(木)に「フレイルチェック会」を開催しました。フレイルチェックとは、フレイル(加齢による心身の衰え)を早期に見つけ、健康づくりにつなげるための取り組みです。握力や片足立ちの時間の測定に加え、日常生活に関する質問票に回答することで、フレイル傾向にあるかどうかを確認します。3日間のチェック会には計189人が参加され、チェックを受けた方には、日常生活に取り入れられる運動や健康づくりのポイントを紹介しました。「歩く速度が遅くなった」と回答する方が半数程度いらっしゃり、年々足の筋力低下を感じているとのことでした。中には、片足立ちをしながら歯磨きをしたり、水を入れたペットボトルをダンベル代わりにして腕の体操をしたりなど、自宅でできるトレーニングで身体を鍛えている方も多くいらっしゃいました。

本センターでは、今後も集いの場などでフレイルチェック会を開催していきます。ご自身の健康状態を知る機会として、ぜひお気軽にご参加ください。詳細については、本センターまでお問い合わせください。

フレイルチェック会の様子



握力



片足立ち



結果の振り返り

今日からの生活に活かせるフレイル予防の3つのポイント!



運動

筋力低下の予防には無理なく続けられる運動がおすすめです。実際に、普段右手で持っていた荷物を左手で持つようにしたことで、左手の握力が向上した方もいました。毎日の小さな積み重ねがフレイル予防につながります。

人との交流

人との交流は心と身体を元気に保つ効果があります。一方で、孤独を感じている人は1日15本程度の喫煙に匹敵するほど健康へ悪影響を及ぼすといった報告があります。笠松町には様々な集いの場があります。一度足を運んでみてください。

食事

1日3食をよく噛んで食べることが大切です。栄養バランスのよい食事を続けるために、缶詰や冷凍野菜などを活用するのもおすすめです。食べるためには口の健康も大切です。自宅でできる口の体操を紹介します!

自宅でできるベロ出しごっくん体操 食事の前の1分でむせ予防!

食事前に準備体操をすることで、のどの動きがよくなりむせを予防することができます。



ごっくん!

- ① ゆっくり首まわし 左右5回
 - ② ベロを少し出したまま、口を閉じてつばを飲み込む 10回
- ※ 難しい方はベロは出さずにごっくんでOKです!



9月は「認知症月間」です



認知症を正しく理解し、温かく見守り・サポートできる笠松町を目指して

認知症は誰もがなりうる可能性があります。自分らしくいきいきとした生活を送るには、同じ地域に住む私たち一人ひとりが認知症を自分ごととして正しく理解し、支え合うことが大切です。

本センターでは9月の「認知症月間」に合わせ、認知症に関するイベントを開催します。

町内商業施設をまわる認知症啓発パネル展

幅広い年代の方に認知症について知ってもらえるよう、町内3つの商業施設を巡回する「認知症啓発パネル展」を開催します。

認知症の種類や初期症状、相談窓口の紹介などのほか、町内グループホーム等の入居者さんが日々作られている作品の展示も行います。

どなたでも気軽に学べる内容となっていますので、お買い物ついでにぜひご覧ください。※会場が移動します。ご注意ください。



昨年の町内グループホームの作品

会場・開催期間

- | | |
|------------------|-------------------|
| ○ロビン・フッド 笠松店(米野) | 9月 1日(火)～9月10日(木) |
| ○トミダヤ 笠松店(長池) | 9月11日(金)～9月17日(木) |
| ○無印良品ヨシヅヤ笠松(如月町) | 9月18日(金)～9月24日(木) |

脳元気測定会募集

脳元気測定会は、専用のDVDを見ながらテストを受け、脳の健康状態を確認します。認知症を予防する上で、現在の脳の健康状態を把握することは大切なことです。皆さんぜひご参加ください。

※DVDを観ながら行いますので開始時間に遅れますと測定会に参加していただけない場合がございます。

- | | | |
|------------|----------------------------|---|
| 日 時 | 9月25日(金)
午前10時～午前11時30分 | 
申込フォーム |
| 会 場 | 笠松中央交流センター
1階集会室 | |
| 持ち物 | 筆記用具、眼鏡(必要な方)、補聴器 | |

夜に学べる認知症サポーター養成講座募集

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、地域でできる範囲で認知症の方や家族を見守り、支える応援者です。今年度本センターでは、より多くの方に学んでいただけるよう、昼と夜の2回開催を行っています。8月の昼講座に続き、仕事や学校で日中の参加が難しい方のために下記のとおり夜講座を開催します。

認知症の基礎知識や関わり方をわかりやすくお伝えしますので、ぜひご参加ください。

- | | | |
|------------|--------------------------|---|
| 日 時 | 10月2日(金)
午後7時30分～午後9時 | 
申込フォーム |
| 会 場 | 笠松中央交流センター
2階学習室2 | |
| 持ち物 | 筆記用具、眼鏡(必要な方) | |

※脳元気測定会と認知症サポーター養成講座は事前申し込みが必要です。参加をご希望の方は、各開催日の前日までに本センターへご連絡いただくか、申込フォームからお申込みください。

誰にでも優しいまちづくり 認知症サポーターステップ・アップ講座開催

6月29日(月)中央交流センターで認知症サポーターステップ・アップ講座(以下認サポステップ・アップ)を開催し、認サポステップ・アップ修了者やケアマネジャー等36人が参加しました。

講座では認知症疾患医療センター岐阜病院相談員の大栗 永^{ひさふみ}瑞さんを講師としてお招きし「認知症カフェっていいな」をテーマに岐阜市の認知症カフェの紹介や認知症カフェがあることで地域と認知症当事者とのつながりができることをお話いただきました。

講話後、グループワークを行い、認知症当事者に限らず、障がい者、子どもなど誰が来ても受け入れることができる集いの場にするには何が大切かを話し合いました。参加者からは「認知症当事者も仲間と思って接している」など温かな意見がありました。



認知症カフェの良さを再確認

赤い羽根共同募金街頭募金活動のお知らせ ～共同募金会笠松町分会～

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります。共同募金は高齢者、障がい者、子どもたちなどを支援するさまざまな福祉活動や災害時の支援に役立てられます。次の日程で街頭募金活動を行いますので、皆さんのご協力をお願いします。



- | | | |
|-----------|---------------|---|
| 10月 1日(木) | 17時45分～18時20分 | 名鉄笠松駅 |
| 10月 3日(土) | 10時00分～11時30分 | トミダヤ笠松店(長池)、ヨシヅヤ笠松店(如月町)、
ロビン・フッド笠松店(米野) |
| 10月25日(日) | 10時00分～16時00分 | リバーサイドカーニバル(会場：笠松みなと公園) |
| 11月 5日(木) | 10時00分～正午 | 笠松競馬場 正門前(若葉町) |

施設サービスのご案内

■デイサービス 入浴、食事、レクリエーション等充実した楽しい一日をご提供します。

■グループホーム 認知症の方の「もう一つの家」として24時間体制でお世話をさせていただきます。

■予防リハビリ 体を動かし、頭を働かせ身体の機能回復を図ります。

■居宅介護支援事業所 介護に関してのご相談を専門スタッフがご受け致します。

■小規模多機能 デイサービス・泊まり・訪問介護の組み合わせにより24時間サポートをします。

入居受付中

高齢者介護施設

〒501-6047 岐阜県羽島郡笠松町二見町15-1 **笠松駅前** TEL.058-387-7101

めざせ！生涯自立

家で自立した生活をするための

体操教室

※介護保険サービスです



アクティブでできる事

- ・ご自宅まで送迎します
- ・健康チェック
- ・生活に必要な筋肉体操
- ・コーヒータ임 運動後は話も弾みます！
- ・帰宅途中に買い物に行きます。(水曜日希望者のみ)

90分～

約650円/回～

動けなくなってから
身体を戻すことは大変です。

介護保険を利用するのは私にはまだ早い。

そう思っている方！

今こそ筋肉体操で体力を保ちましょう！

アクティブトレーニングセンター

まずは見学・体験してみませんか？

お気軽にご相談ください

058-387-0054

【受付時間】8:00～17:00

URL: <https://active-training.center/>

住所: 笠松町門間46-2



**めざせ！
生涯自立**

無料体験 実施中！



笠松町 介護予防・日常生活支援総合事業 指定事業者

★財源確保のため広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へお願いします。
また、広告掲載を希望される方は、本会(☎387-5332)までお問い合わせください。